



RED HAT® ENTERPRISE LINUX® 脆弱性クイックチェックサービス

**システム担当者のみならず、
マイナンバー対策が求められる現在、
セキュリティの盲点を今一度OSから見直しませんか？**



法改正、サイバー攻撃の増加により、重要性が増すセキュリティ

2015年10月からのマイナンバーの導入にともない、人事・経理を担当する部門においても従業員の個人情報管理の徹底が求められ、アプリケーションやワークフローを含めた見直しが急務です。またハッキングによる情報漏えい、ホームページの書き換えなどのサイバー攻撃が増えており、顧客やステークホルダーからの信用失墜、ビジネス機会や利益損失のリスクも増えています。



レッドハットがオフラインのサーバーを含め、OSの更新状況、脆弱性をチェック

本サービスではお客様のRed Hat Enterprise Linuxサーバーの更新状況を調査・報告します。50台までの調査が可能でお客様は各サーバーの状態をより深く理解し、その後の改善などのステップに円滑に移行できます。社内の担当者ではなく第三者による脆弱性チェックを受けたいというお客様はもちろん、インターネットに接続していないあるいは接続できないサーバーの脆弱性チェックを行いたいお客様に最適です。

[RED HAT ENTERPRISE LINUX 脆弱性クイックチェックサービスのメリット]

- 既知の問題が顕在化してビジネスへ影響が及ぶことを予防
- 複数サーバー間でパッケージ構成が同一であることを確認
- 既存サーバのOS更新作業に抜け・漏れがないことを確認

サービス概要と手順

お客様から各サーバーの構成情報をご提出いただいた上で、弊社コンサルタントが分析を行い、現在の各サーバーの状態についてHTML形式のレポートをご提供いたします。

1) データ収集:

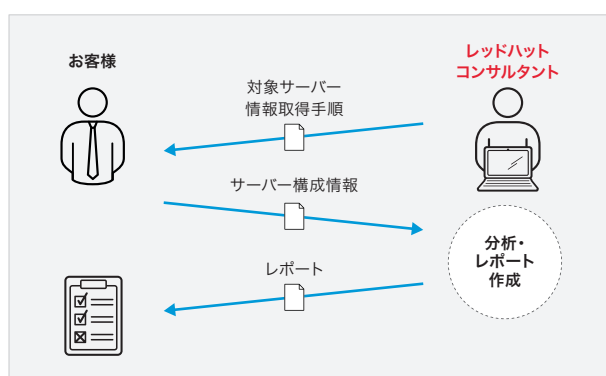
- ・ 構成情報の取得方法をお客様にお知らせ
- ・ お客様による構成情報収集・送付

2) 情報分析:

- ・ 弊社コンサルタントが構成情報を分析
- ・ レポートを作成

3) レポートの提出:

- ・ 弊社コンサルタントによる分析結果を
まとめたレポートの提出



脆弱性クイックチェックサービスは
Webでもご確認いただけます

>>> <http://jp-redhat.com/security/>

